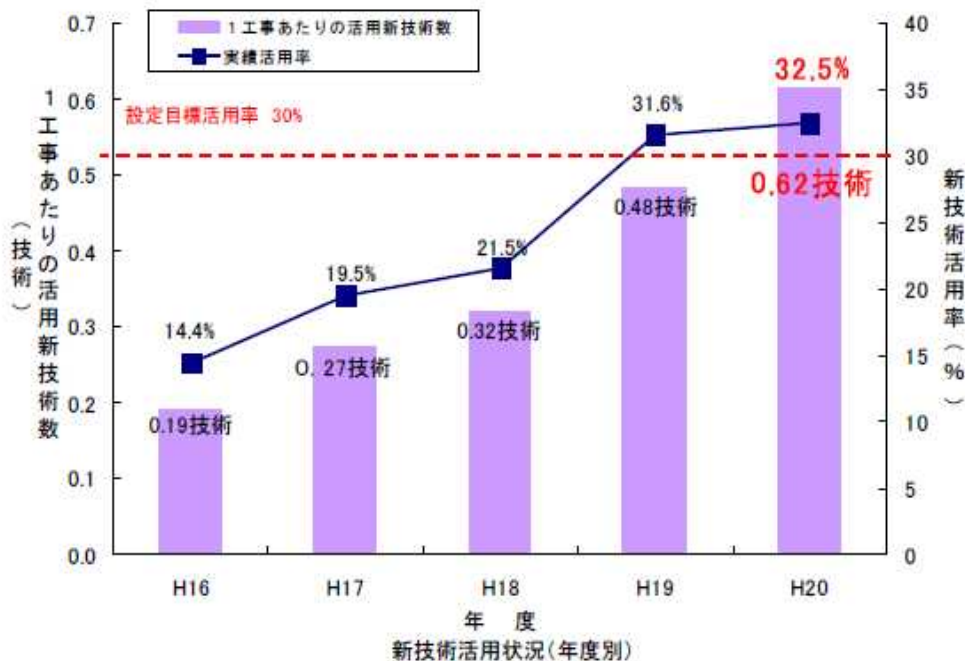


1. 新技術活用状況の推移

- 新技術活用率(新技術を活用した工事件数を総工事件数で除したもの)は平成20年度では32.5%となり、平成19年度の31.6%から0.9ポイント増加しました。
(国土交通省行政効率化推進計画(平成16年6月15日)(※1)に掲げた目標を引き続き達成しました。)
- 活用延べ新技術数(総工事で活用されたすべての新技術の総数)も年々増加し、平成20年度では8,879件となり、1工事あたりの活用新技術数は、平成20年度では0.62技術となり、平成19年度の0.48技術と比べ約1.3倍に増加しました。



新技術活用状況	H16	H17	H18	H19	H20
①総工事件数	14,764	13,748	12,648	13,453	14,435
②新技術活用件数 ※2	2,120	2,677	2,720	4,255	4,687
③活用延べ新技術数	2,827	3,763	4,063	6,501	8,879
新技術活用率(②/①)	14.4%	19.5%	21.5%	31.6%	32.5%
1工事あたりの活用新技術数(③/①)	0.19	0.27	0.32	0.48	0.62

※1 国土交通省行政効率化推進計画(平成16年6月15日)より抜粋
経済性に優れた新技術の活用を促進するため、数値目標を設定し、一定割合の工事において新技術を試行する。(平成19年度までに新技術を試行・活用する工事件数の割合の目標を30%に設定。これを基に新技術の積極的な試行・活用を図る。)

※2 新技術活用件数とは、新技術を1件以上活用した工事の件数

3. 活用件数の多い新技術(上位20位の新技术)

- 活用延べ新技术数8,879件のうち、活用件数の上位20位の新技术は以下のとおりです。

平成20年度に最も活用件数が多かったのは、工事現場の仮設などに用いられる「手摺先行型足場」でした。その他に活用件数が多かった新技术は、コンクリートの打設や養生、型枠に関する新技术、道路付属物に関する新技术などでした。

活用件数の多い新技术(平成20年度)

	NETIS登録番号	技術名	副題	工種
1	KT-010074-A	手摺先行型足場	手摺先行型足場及び枠組足場用手すわぐ	建築
2	TH-040016-A	簡易式体感マット	粘着固定無しでも簡単に設置でき、濡れ路面での使用も可能な簡易式体感マット	道路維持修繕工
3	TH-020040-A	デルタクッション	再生ウレタン材を活用した車両用保安防護体	付属施設
4	TH-070005-A	カプセルプリズム型高輝度路上工専用標示板(工事看板)	路上工専用標示板向けカプセルプリズム型高輝度再帰反射シート	仮設工
5	SK-040007-A	ピカコン	気泡抜き取り具及びフレッシュコンクリート表面仕上げ方法	コンクリート工
6	KT-980368-A	Qマット	コンクリート用湿度・保温養生マット	コンクリート工
7	TH-020038-A	ニューネオソーラー	ニッケル水素電池を使用した長寿命ソーラー式道路工専用保安灯	付属施設
8	KT-050017-V	ハット形鋼矢板900	建設コスト削減に寄与する新断面鋼矢板	仮設工
9	KK-990050-A	ディスバライト	コンクリート打継目処理剤	コンクリート工
10	KT-070054-A	ジョイントックスCT-400	洗い出し不要の打ち継ぎ処理剤	コンクリート工
11	CB-980012-V	パワープレンダー工法(スクリュー噴射方式)	表層・中層地盤改良	共通工
12	HR-990005-V	サンタックスパンシール誘発目地材	止水機能を有するコンクリート誘発目地材	コンクリート工
13	HK-040003-A	KB目地	ノンコーキング式コンクリートひび割れ誘発目地材	コンクリート工
14	HK-030007-V	モルタル・コンクリート用ひび割れ抑制ファイバー	クラックバスター	コンクリート工
15	QS-020033-A	太平洋ハイパーエクスパン	低添加型膨張材	コンクリート工
16	CB-980008-V	残存型枠工法「残存型枠プロテックピラスワンダー」	施工性に優れたコンクリート製残存型枠	コンクリート工
17	KK-980055-A	キャスボル	簡易支持力測定器	調査試験
18	CG-060005-A	アウアマットSタイプ	コンクリート傾斜面および水平面用の湿度養生マット	コンクリート工
18	HK-030032-V	ランブルストリップス(センターライン対応型)	警告型切削溝による正面衝突事故対策	付属施設
20	KT-050007-V	Stコン(エステーコン)	新名称「ヒットコン」:Pコーン穴埋め処理材(誰でも簡単に確実にしかも均一に締結出来る。)	コンクリート工